

公益財団法人 宇都宮市スポーツ振興財団 中期経営計画評価表

I 組織の概要

平成27年4月1日現在

1. 団体の基礎情報										
所在地	宇都宮市元今泉5丁目6番18号				設立年月	昭和56年2月				
所管課	教育委員会事務局 スポーツ振興課				代表者	理事長 渡辺竹男				
ホームページアドレス	http://www.utsunomiya-sponavi.or.jp									
基本財産（資本金）	10,000千円	主な出資者			出資額	出資割合				
市出資額	10,000千円	—			—	—				
市出資割合	100.0%	—			—	—				
設立目的等	生涯スポーツの推進を図るため、宇都宮市におけるスポーツ振興に関する事業を行い、スポーツ活動の普及、啓発に努め、もって市民の心身の健全な発達と健康で豊かな生活の形成に寄与することを目的とする。									
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民スポーツ活動の普及に関する事業</li> <li>体育施設の管理運営に関する事業</li> <li>その他この法人の目的を達成するために必要な事業</li> </ul>									
2. 団体の組織・人員情報										
役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	1	1	正規職員等			嘱託・臨時職員等		
		監事	0	0	正規職員	47	0	嘱託職員	7	0
	非常勤	理事	7	1	再雇用職員 (フルタイム)	2	0	再雇用職員 (短時間)	0	0
		監事	2	0	派遣等職員	0	0	臨時職員等 (アルバイト等も含む)	20	0
計	10	2	計	50	1	計	27	0		
役員の平均年齢（歳）	61.0	役員の平均年収（千円）	—	情報公開制度の有無			○			
職員の平均年齢（歳）	52.0	職員の平均年収（千円）	6,885	個人情報保護体制の有無			○			
3. 財務状況										
貸借対照表から	項目	金額（千円）					26年度公益目的事業比率	80.0%		
		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	備考			
	総資産	478,887	498,126	516,069	569,252	625,411				
	負債	344,361	366,423	371,169	413,738	466,104				
	(うち市からの借入金残高)	0	0	0	0	0				
	純資産	134,526	131,704	144,901	155,515	159,308				
(うち利益剰余金)	124,526	121,704	134,901	145,515	149,308					
※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。										
損益計算書から	項目	金額（千円）					備考			
		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算				
	総収入	904,285	789,511	842,163	823,334	763,127				
	(うち市補助金等)	177,587	185,101	187,099	184,201	246,007				
	(うち市委託料等)	466,699	461,532	460,182	450,809	377,930				
	経常損益	14,714	△ 2,823	13,198	10,974	3,793				
減価償却前当期損益	14,714	△ 2,823	13,198	10,614	3,793					
当期損益	14,714	△ 2,823	13,198	10,614	3,793					
※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。										
4. 経営改革に関する平成19年度～21年度までの主な取組（前計画の主な取組）										
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の休場日開放、利用時間・期間の拡大並びに公共施設予約システムの運用及びホームページでの施設空き情報の提供など市民サービスの向上に取り組んだ。</li> <li>スポーツ教室の拡大（延開催日数18年度：629日⇒21年度：991日）やデリバリー事業を新たに開催するなど自主事業の拡充に取り組み、生涯スポーツの支援に努めた。</li> <li>スポーツ少年団及び市民体育大会への事務支援を開始し、事業拡充に取り組んだ。</li> <li>マネジメントサイクルを活用した事業の改善及び質の高いサービスを提供するため、自己評価を開始した。</li> <li>市派遣職員の削減、嘱託職員の見直し並びに委託業務の集約などにより経費の縮減を図った。</li> </ul>										

## Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・強化								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
1	公益目的事業比率の維持	26年度末 80%	83.4%	87.1%	87.1%	87.5%	87.6%	80.0%
2	事業評価の実施及び活用	マネジメントサイクルを活用した改善	実施	実施	実施	実施	実施	実施
3	受託事業の充実	受託事業 4事業	3事業	3事業	4事業	4事業	4事業	4事業
4	スポーツ教室の充実	26年度 延べ参加人数40,000人	34,774 人	35,785 人	40,919 人	50,041 人	41,331 人	35,014 人
5	効果的・効率的な施設の管理	26年度利用者数 1,175,000人	1,336 千人	1,243 千人	763 千人 ※東日本大震災による管理施設の休館・休場に伴う利用者数減	1,079 千人 ※東日本大震災による管理施設の廃止等に伴う利用者減	1,005 千人 ※宇都宮市体育館休館（10月～3月）に伴う利用者減	849 千人 ※宇都宮市体育館休館（4～10月）、27ル、カセツター受託終了に伴う利用者減
2. 経営の強化・効率化								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
6	内部統制機能の充実	24年度 公益財団法人に適應した体制の構築	旧民法に基づく体制	準備	準備	実施	実施	実施
7	市からの補助金・負担金の適正化	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化	決算額 167,831 千円	決算額 177,587 千円	決算額 185,101 千円	決算額 187,099 千円	決算額 184,201 千円	決算額 246,008 千円
8	市からの委託料の適正化	効率的な事業執行による委託料の適性化	決算額 468,610 千円	決算額 466,699 千円	決算額 461,532 千円	決算額 460,182 千円	決算額 450,809 千円	決算額 377,930 千円
3. 組織・人員体制の強化								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
9	常勤役職員数の適正化（派遣等を除く。）	26年度 52人体制	53人	53人	52人	51人	51人	47人
10	職員の資質向上	全職員研修の実施	職員研修の実施	実施	実施	実施	実施	実施
4. 情報提供の充実								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
11	ホームページ等における情報提供の充実	24年度 公益財団法人として情報公開が必要となる資料の提供	事業・組織情報の提供	準備	準備	実施	実施	実施
12	ホームページの充実	24年度メールマガジンの配信	財団ホームページの運用	検討	準備	準備	準備 （スマホ対応等検討）	準備 （スマホ対応等準備）

5. 新公益法人制度への対応							
No	取組項目	目標	基準値		実績値		
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
13	公益財団法人への移行	24年度 公益財団法人への移行	特例民法 法人	検討	移行認定	24.4.1 移行	→

### Ⅲ 評価

団体 記入欄	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館等の施設では、潜在的利用者を対象としたスポーツ体験会や施設利用者へのスポーツ指導などソフト面の拡充及び施設独自の事業を開催するなど、市民サービスの向上並びに利用者の拡大に努めたが、プール・スケートセンターの指定管理終了にともない、施設利用者は前年度に比べ減少となった。</li> <li>・幼児から高齢者まであらゆる年齢層を対象にしたスポーツ教室の実施や、ニーズの高い事業並びに地域や小学生等を対象としたスポーツ指導デリバリー事業の拡充に努め、市民サービスの向上を図った。また、清原体育館及び明保野体育館においては、休館日を利用したスポーツ教室を開催するなど、市民サービスの向上に努めた。</li> <li>・市体育協会事務局及びスポーツ少年団並びに市民スポーツ大会への事務支援を継続して実施した。</li> <li>・公益財団法人移行後の適正な会計処理及びガバナンスの構築に取り組んだ。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団職員の高齢化による組織の硬直化への対応</li> </ul>
所管課 記入欄	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プール・スケートセンターの管理終了に伴い、施設利用者は前年度に比べ減少となったが、スポーツ体験会やスポーツ指導などのソフト面の拡充及び施設独自の事業を開催し、市民サービスの向上、利用者の拡大に努めている。</li> <li>・あらゆる年齢層を対象にしたスポーツ教室の実施やニーズの高い事業、地域や小学生等を対象としたスポーツ指導デリバリー事業の拡充に努め、市民サービスの向上を図っている。</li> <li>・市体育協会事務局及びスポーツ少年団並びに市民スポーツ大会への事務支援を継続して実施している。</li> <li>・財団ホームページを全面リニューアルし、利用者の利便性向上に努めている。</li> <li>・公益財団法人移行後の適正な会計処理及びガバナンスの構築に取り組んでいる。</li> </ul> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の高齢化や年齢構成のアンバランス化を解消し、組織活力を維持・向上するため、早期退職者制度の導入や将来の組織・職員計画を作成する必要がある。</li> <li>・職員の退職者数や自主事業の実施状況を見据えながら、管理施設の峻別を行うとともに、将来の財団のあり方を検討する必要がある。</li> </ul>